

## 『経営戦略研究』の発刊によせて

経営戦略研究科が発足してはや2年が経ち、修了生も200名あまりとなりました。経営戦略研究科は、専門職大学院として高度専門職業人を養成するという大きな役割を担っています。修了生は、ビジネスに関する様々なシーンで活躍することを目指しており、この課程で学んだことを社会で活かそうと考えています。

雑誌『経営戦略研究』は、修了生が在学中に行った学習の集大成として行う研究の成果を発表する目的で企画されました。大学院の研究が学術的な側面を持つのは当然ですが、経営戦略研究科の学生が行う研究は、学術的な知見を背景にした実践的なものです。その中には、自らの勤める組織に関連した研究も多く、具体的な問題の解決を図っているものもあります。

学生が抱える問題は、ビジネスの最前線にあるものが多く、研究の背景を理解すれば、現在の日本企業が直面する問題が透けて見えると思います。その意味でも、この雑誌は日本のビジネスシーンの縮図といっても良いでしょう。

読者の皆さんにとっても、この雑誌は有益な知識を提供してくれると信じています。同じような問題を抱えているビジネスマンに優れたインスピレーションや解決方法への糸口を与えるものになるはずで、学術的な知見と実践的な問題を近づけていく事例としても意義深いものです。

経営戦略研究科では、高い意欲を持った学生を積極的に支援するために様々なアプローチを取っています。この雑誌もその一貫として発刊されており、広く研究成果を公開することで、学生は意欲を持って研究に積極的に取り組むことができると思います。

また、研究が批判的な目で厳しく評価されることも学生にとっては良い経験になるはずです。自分では気がついていない思いこみを他人から広く指摘されることで、実践上の改良や他者の経験を共有するという過程の重要性を知ることでしょう。

今後長く発行されることになるであろうこの雑誌の発刊に立ち会えることは、私自身にとっても大きな喜びです。学生の指導に尽力された先生方にも感謝しなければいけません。

これからの『経営戦略研究』の充実にご期待下さい。

2007年7月

関西学院大学経営戦略研究科研究科長

山本昭二